## 気仙沼市大島地区で開催した災害復旧事業説明会概要

	気仙沼市大島地区で開催した災害復旧事業説明会概要
件名	中沢地先海岸地元説明会
日時	平成 24 年 6 月 28 日 (木) 10:00 ~ 11:30
場所	気仙沼市要害93番地先 海岸堤防内
出席者	住民,漁協関係者など計30数名
内容	1. 説明会の目的
	中沢地先海岸の地元住民及び漁業関係者の皆様を対象に、復旧概要の説明を行ったものです。
	2. 住民からの主な質問
	①計画堤防高(L1区間及び地盤沈下嵩上げ区間の考え方)
	②堤防計画位置について
	③漁業関連施設の復旧方法
	3. 土木事務所からの回答
	①堤防高さはL1(数十年~百数十年に一度の頻度の津波)に対応したもので、シミュレーションに基づくものです。
	また,地域の地形や背後地の状況などを踏まえて,地盤沈下分の嵩上げのみの復旧を考えている区間もあります。
	②ボーリング調査及び地質調査結果、経済性、周辺への影響等を考慮した案を示します。
	③漁業関連施設は、震災以前の状態に復旧し、人為的操作を要する陸閘を出来る限り減らす方針です。
	【土木事務所配布資料抜粋】
	4. 8
	復旧延長 L=671.1m
	護岸工(1) L=226.8m 護岸工(2) L=413.4m
	斜路工
	根固工 根固工 根固工
	RIGE T
	植管工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	↑ 護岸工L=640. 2m
	・ 斜路部胸壁工L=30.9m ・ 斜路部胸壁工L=30.9m ・ 斜路工N=1箇所 ・ 斜路エN=1箇所
	・カルバート T N-1 箇所 ・水門N-1 箇所 ・ 格管 N-3 箇所
	通過時後末後域 海波鐵路水深 復旧計画平面図 0 25 50 100
	計画堤防高 T.P.+7.0m 現地での計画堤防高の提示
	17/48 No. 2000 17/48
	MIND A 10 (1950)   MIND A 10 (19
	T.P. +7.0
	HARRISA 17-4-18 MARK BLACK CONTROL OF THE PARTY HARRISA 17-4-18 MARK BLACK CONTROL OF THE PARTY HARRISA 17-4-18
	中沢地先海岸 27年8月1900 第23-2750
	推田 (
	サノ野川 東 (G) (単中浜 単語)
	13 美元 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
	中京 中
	標準断面図 護岸工(2)